

# 第3期中心市街地活性化プログラムの令和3年度のフォローアップについて

## 1 第3期中心市街地活性化プログラムの概要

### (1) 目的

第3期中心市街地活性化プログラム（以下、第3期プログラム）は、各種取組の実施主体となる商店街や商工団体、市民団体等と支援機関、行政機関が、長期的に目指すまちの姿とプログラム期間の目標、基本方針などを共有し、中心市街地の機能や魅力の維持・向上に取り組むことを目的とする。

### (2) 位置づけと期間

#### ア 位置づけ

第3期プログラムは、第6次総合計画を上位計画とし、各種まちづくり計画と連携し、中心市街地の活性化に向けた取組を推進するための指針と位置付ける。

#### イ 期間

第3期プログラムの期間は、令和2年4月から令和5年3月末までの3か年とし、将来像の実現に向けた段階的な取組を推進する。

※計画期間当初からコロナ禍に見舞われたことにより、取組が思うようにできない状況が続いたため、計画期間を令和7年3月末までの5か年に延長する。

### (3) 第2期中心市街地活性化プログラムからの主な変更点

- 居住人口減少、高齢化等に伴い課題は多様化しており、従来のイベント中心のプログラムの成果が、一過性の「まちの賑わい」創出にとどまることから、課題対応型のプログラムへの転換を図る。
- 高田地区と直江津地区は、長い年月をかけて蓄積された都市、居住、生活、経済等の機能、歴史・文化などの違いから、現在のまちの姿、取り組むべき課題も異なるため、目標等を地区別に定める。
- それぞれの既存ストックをいかし、高田地区は「上越地域の中心都市として再生」、直江津地区は「上越地域の交流・交易の中心」を目指す。

#### ア 将来像

長期的に目指すまちの姿「将来像」を新たに設定する。

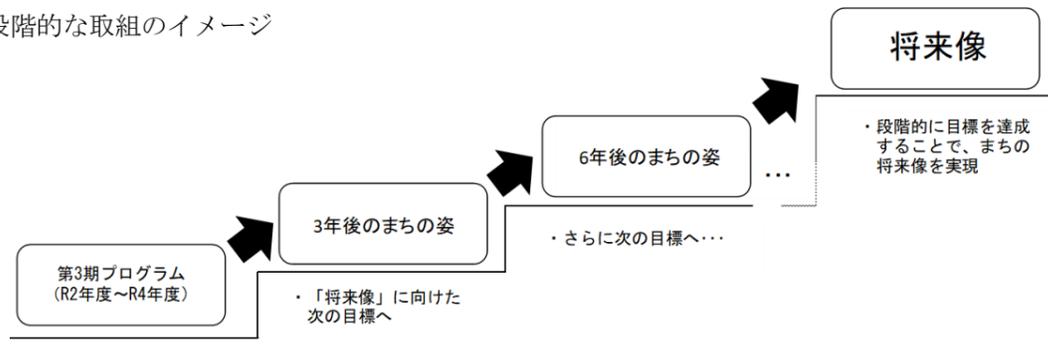
高田地区	直江津地区
暮らしたい、訪れたい、働きたい、城下町・高田	人、モノ、情報が出会い交流する、港町・直江津

#### イ 3年間の目標

- 高田地区は、都市、居住、経済等の機能や歴史的・文化的資源の有効活用を図る。
- 直江津地区は、集客が期待できる拠点施設の利用者が街なかを楽しむ仕掛けづくりに取り組む。

第2期プログラム	第3期プログラム	
	高田地区	直江津地区
街のにぎわいの向上	つかいたいまち・高田	めぐる！楽しむ！直江津

※段階的な取組のイメージ



### ウ 目標指標

人口減少、高齢化、車社会などの社会経済情勢とプログラムの実施期間を考慮した上で達成可能なものとし、地区別の3年間の目標に合わせて設定する。

地区	第2期プログラム	第3期プログラム
高田地区	①歩行者交通量の10%増加 【6,923人 → 7,600人】	①高田区居住者の日常の買物割合 【6.3% → 6.3%以上】
	②空き店舗数の減少 【14件 → 11件】	②主要な拠点施設の年間利用者数の増加 【1,128,338人 → 1,129,000人以上】
	③イベント集客人数の増加 【189,288人 → 208,000人】	③街なか居住の促進に向けた機運の醸成 【住民の機運が高まった状態】
直江津地区	①歩行者交通量の10%増加 【2,409人 → 2,650人】	①直江津区居住者の日常の買物割合 【19.2% → 19.2%以上】
	②空き店舗数の減少 【8件 → 6件】	②直江津区非居住者の地区内買物割合 【29.8% → 29.8%以上】
	③イベント集客人数の増加 【205,800人 → 226,100人】	③主要な拠点施設の年間利用者数の増加 【953,404人 → 954,000人以上】

### エ 基本方針

3年間の目標と連動し、イベントを中心とした賑わい創出から、産業振興と街なか居住の促進を2本柱として当面の課題に対応する取組を推進するための基本方針に見直す。

第2期プログラム	第3期プログラム	
	高田地区	直江津地区
①商店街の維持・活性化	①商店街や商店の魅力と利便性の向上	①拠点施設の来街者に街なか回遊を促す仕掛けの充実
②地域資源を活かしたまちづくりの推進	②エリア間の連携強化	②街なかの受け入れ環境の整備
③次代につなぐ担い手の育成	③居住環境の改善	③居住環境の改善に向けた検討

### オ 長期的課題の明確化

中心市街地活性化に向けた課題のうち「3年間の取組のみでは解決が困難なもの」と、「当面取り組むべきもの」を区分することにより、商店街や商工団体、市民団体等と取組の優先度について、認識を共有する。なお、長期的な課題については、継続的な取組の例示も行う。

### 【まちの力を維持・強化するため長期的に取り組む事項（高田地区・直江津地区共通）】

- 地区内居住人口の維持・増加
- 商業機能の維持・拡充
- 空き地、空き家、空き店舗の解消
- 公共交通の利便性の向上
- まちづくり会社の機能強化

## 2 目標指標の達成状況

### 【高田地区】

指標①：令和4年度において高田地区居住者が「本町3～7丁目、幸町で週2,3回以上買物する割合」を6.3%以上とする（令和元年度調査時と同水準以上）

達成状況：現況値なし（令和6年度に調査実施予定）

指標②：令和4年度において主要な拠点施設<sup>※1</sup>の年間利用者数の合計を1,129千人以上とする

※1 町家交流館高田小町、高田まちかど交流館、あすとぴあ高田、イレブンプラザ

達成状況：下記の表のとおり

平成30年度	令和3年度
1,128,338人	852,947人（達成率：75.6%）

指標③：「街なか居住促進に向けた住民の皆さんの機運が高まった状態」を目指す

達成状況：まちなか居住推進事業事務局（市）において高田区内のモデル候補地区に選定された5つの町内会（仲町6丁目、本町6丁目、本町7丁目、大町5丁目、西城町4丁目）に対し、令和4年度のモデル事業実施に向けて、良好な住環境の整備や街の魅力向上、コミュニティの醸成を図る支援策と、空き家等の利活用を図る支援策の制度設計を行った。

### 【直江津地区】

指標①：令和4年度において直江津地区居住者が「直江津駅前、中央、西本町、五智で週2,3回以上買物する割合」を19.2%以上とする（令和元年度調査時と同水準以上）

指標②：令和4年度において直江津地区に居住していない市民が「直江津駅前、中央、西本町、五智で買物する割合」を29.8%以上とする（令和元年度調査時と同水準以上）

達成状況：現況値なし（令和6年度に調査実施予定）

指標③：令和4年度において主要な拠点施設<sup>※2</sup>の年間利用者数の合計を954千人以上とする

※2 直江津学びの交流館、ライオン像のある館、エルマール専門店街（直江津SC内）

達成状況：下記の表のとおり

平成30年度	令和3年度
953,404人	954,290人（達成率100.1%）

## 3 現状に対する評価と今後の方向性

- 商工団体や市民活動団体（高田地区20団体、直江津地区15団体）を対象に「第3期中心市街地プログラムの取組状況に関するアンケート調査」を実施し、令和3年度の取組状況の確認や各団体が抱えている課題、次年度以降の取組について確認した。
- 第3期プログラムの基本方針に基づいた事業に「取り組んだ」と回答した団体は高田地区で20団体中18団体（90%）、直江津地区で15団体中8団体（53%）であり、コロナ禍においても基本方針に基づいた取組を実施した団体が多い結果となった。
- しかしながら、コロナ禍により取組の規模の縮小や取組そのものを中止した団体も多かったほか、コロナ禍で落ち込んだ売上や集客に対応する取組が多く、本来取り組みたい内容が思うように実施できていない状況が多くみられた。
- 取組事例としては、高田地区では、プレミアム付商品券の発行や季節に合わせたイベントを実施し、誘客を図ったほか、雁木の柱の色塗りや風鈴を飾るなど、景観の整備にも取り組まれた。直江津地区では、「直江津見どころガイド&マップ」、「直江津地区商店街ショッピングガイド&マップ」の発行や、商店街の大売り出しイベント、互の市広場における「パン&スイーツまつり」イベントの開催など、直江津の魅力発信と街なか回遊の促進に取り組まれた。

- 一方で、「取り組んでいない」と回答した団体の理由・課題としては、「コロナ禍により集客事業の実施が困難であったこと」や「会員の高齢化や環境の変化による熱意と意識の低下」といった理由・課題が挙げられた。
- 令和4年度に取り組みたいことや検討していることとしては、DX（デジタルトランスフォーメーション）を取り入れた事業の実施や関係団体と連携した取組の実施のほか、令和3年度から徐々に事業を再開している団体からは「令和3年度に実施した事業を継続していきたい」という声が多くあった。
- また、中心市街地の活性化に向けた意見として、マンション建設などの街なか居住の推進やテナント誘致の支援を求める声があったほか、中心市街地に進出した新しい業種やビジネスとの連携や環境の整備に取り組むたいとの声があった。
- 今後、引き続きプログラムを推進するにあたっては、まちづくり会社や上越商工会議所など関係機関との連携を図りながら、団体の取組の実現に向け支援していくことにより、両地区の目指すまちの将来像の実現を目指していく必要がある。

【参考：アンケート回答の一部紹介】

### ○令和3年度に基本方針に基づいて取り組まれた内容

団体名	取組内容
本町3.4.5商店街振興組合連合会	プレミアム付商品券の発行やアーケード下を活用して季節に合わせたイベントを行った。特に新たに実施した「春のパン祭り」は大盛況であった
(株)イレブンビル	広場、アーケード内にて野菜や果物の継続的な販売やジャズ等の音楽演奏会イベントを開催し、テナントの集客にも波及
越後高田・雁木ねっとわーく	雁木の軒下に風鈴を飾り、景観整備を図ったほか、「雁木の魅力写真コンテスト」を実施し、応募作品を活用して雁木を紹介する冊子を2,000部発行することで、雁木の魅力を市内外に発信した
上越オープンガーデン愛好会	上越オープンガーデンと花めぐりの実施と上越遠足ガーデンを実施し、花を介した人々の交流の創出と、美しいまちづくりに貢献
直江津まちづくり活性化協議会	「直江津見どころガイド&マップ2021年度版」、クーポン付きパンフレット「お得！名店巡り」の発行・配布による街なか回遊の促進
直江津菓子組合	11月3日に互の市広場にて「パン&スイーツまつり」イベントを開催し、約5,000人が来場
みずいろ実行委員会	うみまちアート会期中に「Tシャツアート」イベントをエルマールにて開催

### ○令和4年度に取り組みたいことや検討していること

団体名	内容
本町ゆめカード協同組合	スマートフォンを活用したポイント事業
高田駅前通り雁木の会	高田駅振興会やトキめき鉄道と連携した駅前広場を含む高田駅前通りの活性化につながる取組の実施
直江津商店連合会	直江津屋台会館の利活用による加盟店の商品販売

### ○中心市街地の活性化に向けた意見・提案

団体名	内容
お水鉢プロジェクト	新しい商店街の使い方の検討や、商店街に入ってきた新しい業種との連携による活性化
雁木のまち再生	小規模ながらもシェアオフィスやアトリエ、スタジオなど、少人数で省力化された「空間と時間を利用する」ビジネスの創造
直江津商店連合会	空き店舗の解消に向け、商店街組織を支援対象としたテナント誘致支援補助事業の創設